



プログラム名	グリーンウォッチング		活動時間 1.5～3.5時間
概要	<p>○グループごとに、指定された樹木を探し、ヒントを頼りに植物名を探しワークシートに書き込む。</p> <p>○安全に活動し、閑谷の自然に触れて、植物の見方を獲得する。</p> <p>○最大人数 150人</p>		
ねらい (SDGs)	 	<p>○閑谷周辺の山野にある樹木の特徴や名前を知ること、自然に親しむ心を養う。</p> <p>○活動を通して協力することや思考・判断する事の大切さを学ぶ。</p>	
準備物 (服装など)	<p>○教育センター・・・地図、樹木検索シート、図鑑、ワークシート、ビブス、トランシーバー</p> <p>○研修団体・・・運動着（長袖長ズボンが望ましい）帽子、水筒、タオル、ナップサック、雨具、腕時計、筆記用具、救急用具 など</p>		
研修の流れ	<p>○集合場所に整列（団体引率者の指導）</p> <p>○研修生へ用具配布（センター職員/集合場所）</p> <p>○植物や同定方法についての説明</p> <p>○フィールド活動（同定）開始/終了</p> <p>※地図を見て番号札のかかった樹木を見つけ、その樹木の名前を同定する</p> <p>○貸出用具回収</p>		
研修場所	<p>集合場所</p> <p>○屋外・・・つどいの広場                     キャンプファイヤー場</p> <p>○屋内・・・プレイホール                     各研修室                     ロッジ</p>	<p>活動場所</p> <p>・センターからキャンプ場まで</p> <p>・南の森コース</p>	
研修生への留意事項	<p>○常に班でそろって行動する。</p> <p>○走らない。</p> <p>○植物を傷つけない。</p> <p>○決められたコース以外の茂みの中などに行かない。</p> <p>・鹿、イノシシ、マムシ、ハチなどの動物を刺激しない。</p> <p>○体調が悪化したりケガをした場合には、速やかに引率者に報告する。</p> <p>・容体が改善しない場合は、センター職員が送迎可能地点（舗装された道路）まで車で迎えに行く。</p> <p>○ゴール後、衣服をしっかりと脱ぐ。（マダニ除去のため）</p>		

引率者への  
留意事項

班分け  
4～5 人班

○事前準備

- ・ 研修生の班分け（4～5 人が望ましい）
- ・ 引率者の観察ポイントの配置を決めてください。

○研修当日（出発前）

- ・ 必要な無線機の数センター職員にお伝えください。
- ・ 研修生に水筒、筆記用具、時計などの必要物を用意させてください。
- ・ 研修生に、トイレを済ませ、開始時刻前までに班ごとに整列するよう指示してください。
- ・ 研修生への説明前に、引率者に無線機の使い方を説明します。無線機の説明が終わり次第、監察ポイントに付く引率者は出発してください。

○研修生への説明後

- ・ ゴール時間の周知を研修生に徹底してください。
- ・ 準備ができ次第、出発の合図をお願いします。

○活動中

- ・ 観察ポイントにいる引率者同士で連絡を取り合ってください。
- ・ ケガや体調不良者が出た場合の対応、連絡をお願いします。
- ・ 体調不良者の歩行が難しい場合は、センター職員と連絡を取り、車送迎の手配をお願いします。
- ・ 研修生がコースから外れたり、危険な行為をしたりしないよう観察をお願いします。
- ・ 終了時刻から逆算して研修生をコース内に取り残さないようにゴールに向かってください。途中で研修生と会った場合はゴールに向かうよう指示をしてください。
- ・ 地形上、全ての無線機が繋がるわけではありません。各ポイントで中継をしながら連絡を取り合ってください。

○活動後

- ・ 各班の地図、樹木検索シート、図鑑、ビブスを回収してください。
- ・ ビブスは番号順に揃えて返してください。
- ・ 建物に入る前に衣類をしっかりとたたいてください。

【説明内容】

○植物について

- ・ 植物の役割について
- ・ 植物の分類について
- ・ 植物と動物との違いについて

○同定方法について

※樹木検索シートと葉っぱ図鑑を使って同定を行う。

- ①葉っぱの形を調べる
- ②枝への付き方を調べる
- ③葉のフチを調べる
- ④葉の厚み・硬さを調べる
- ⑤図鑑で詳しく調べて樹木の名前を特定する。